

ぬまた未来共創会議記録



ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える
日時：令和5年6月9日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401

ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



会議の概要

ぬまた未来共創会議

「ぬまた未来共創会議」は、持続可能な価値ある沼田市を市民の皆さんと「共創」（きょうそう）する沼田市の新しいチャレンジです。



【ぬまた未来共創会議Vol.4】
沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

空き地から創る“未来の沼田”

開催日時 令和5年6月9日（金）午後7時～ 場所 テラス沼田4階・防災会議室

参加申込 市ホームページからの申し込み、または沼田市企画政策課の窓口で配布している申込紙で申し込み。（オンライン参加可）
【※切:10/31】

対象者 市内に居住する人、市内に勤務する人、または市内に通学する人

【お問い合わせ】沼田市総務部企画政策課
Tel:0278-23-2111 Fax:0278-24-5179 Mail:kikaku@city.numata.lg.jp



お申し込みはこちら
（沼田市HP）

ぬまた未来共創会議Vol.4

テーマ 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

概要 全国各地で問題となっている“空き地”——沼田市も例外ではありません。この“ピンチ”を“チャンス”に変えるために必要なことは何でしょうか。グループワークを通じてアイデアを出し合い、ぬまたの未来を創造するヒントを探します。

日時 令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分

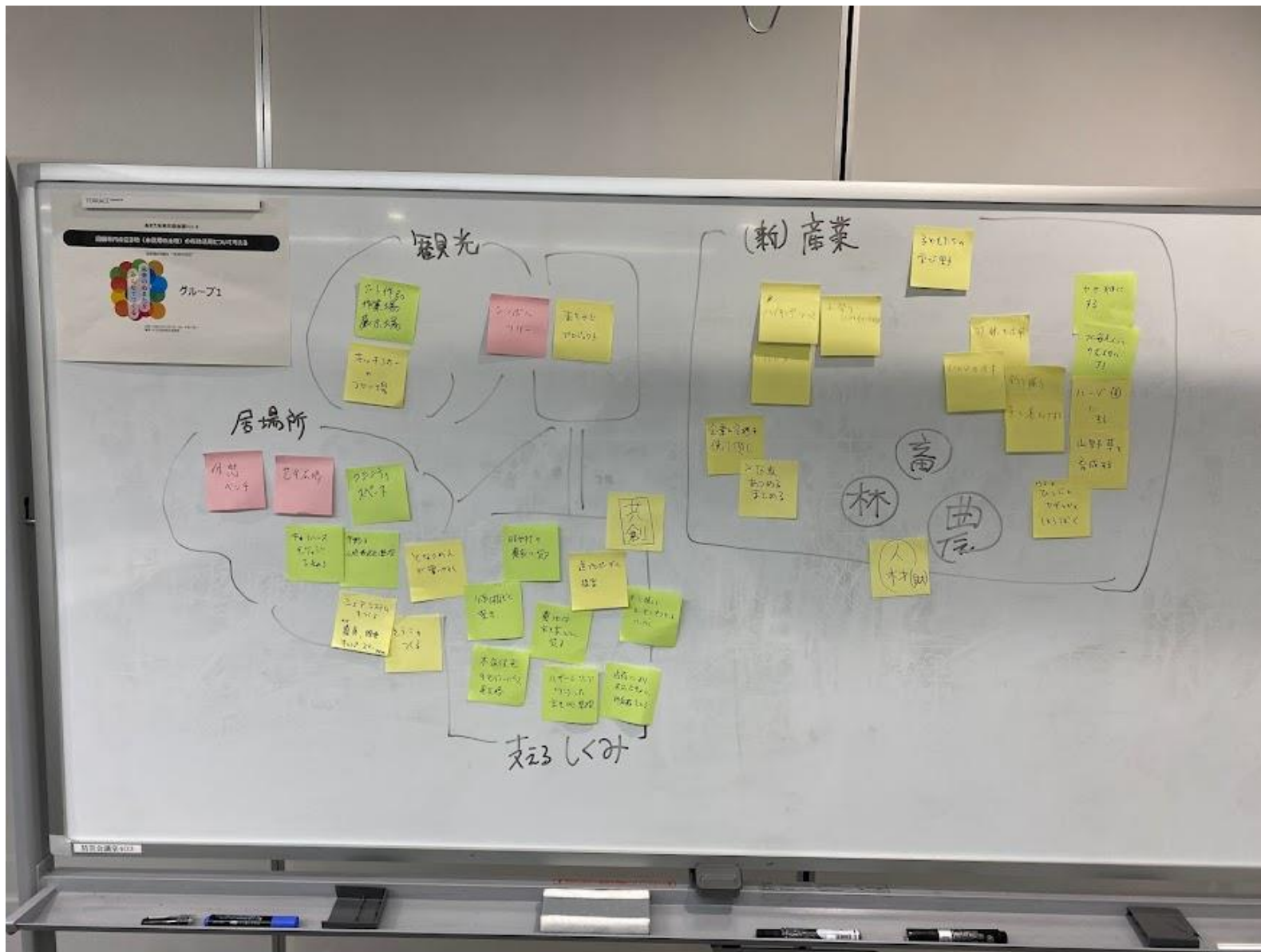
場所 テラス沼田4階／防災会議室401

次第	内容
開会	会議の開始を宣言します。
挨拶	沼田市長 星野 稔
資料説明	本日の流れを説明するほか、関連するデータの紹介、テーマの提案者からテーマ選定の想いをお話いただきます。
グループワーク アイスブレイク	『「実は」自己紹介』という特別な自己紹介を行います。
グループワーク 意見交換	ブレインストーミング形式（グループのメンバーで同じテーマについてアイデアをたくさん出し合うこと）でグループワークを行います。
各班発表	各班で出た意見の共有を行います。（質疑応答もあります）
市長所感	沼田市長 星野 稔
閉会	会議の終了を宣言します。

出席者 計18名（グループワーク参加者のほか運営、オブザーバー等含む）



グループ1ホワイトボード全景



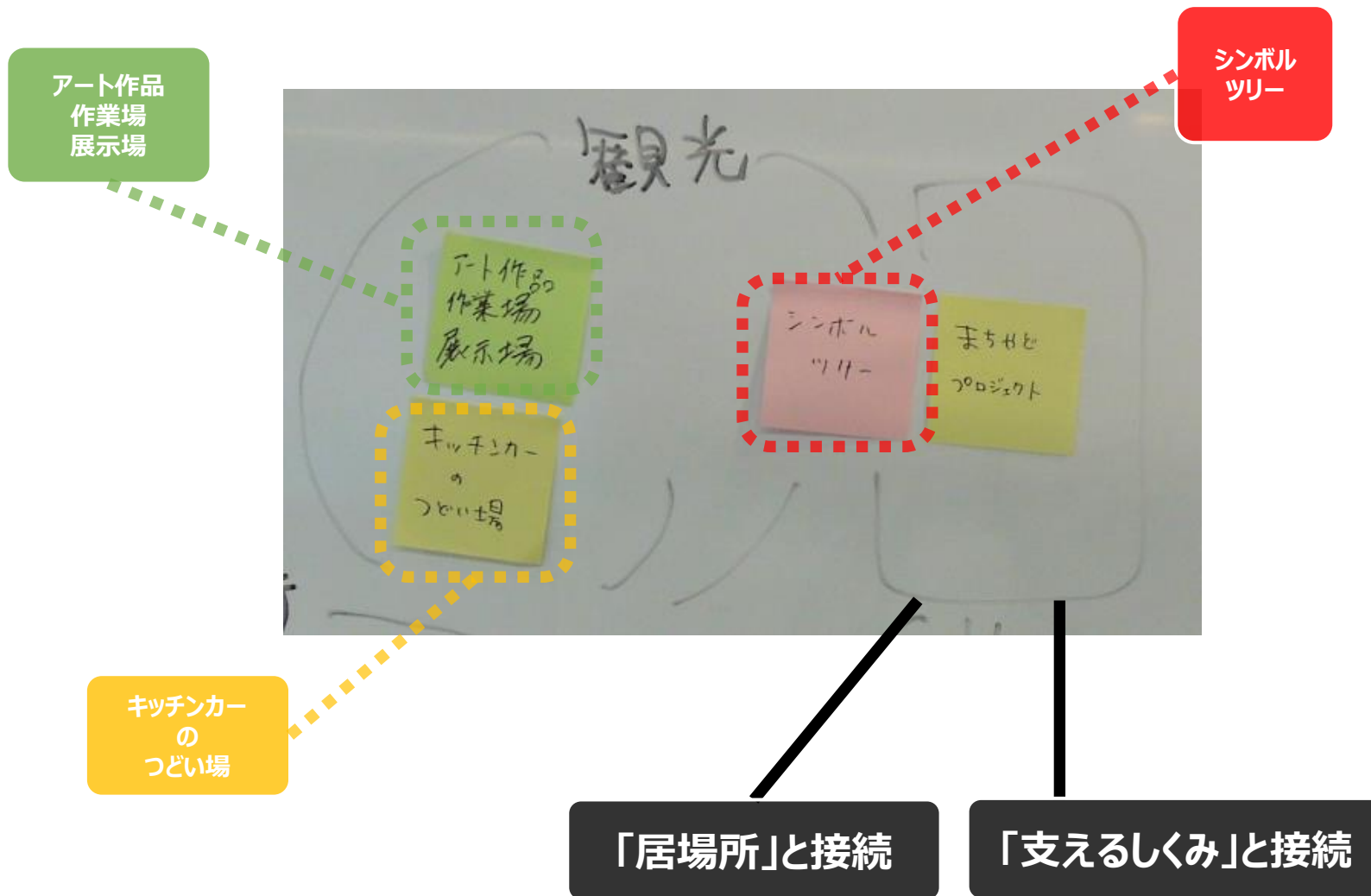
ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



グループ1ホワイトボード詳細

※画質の都合上、一部付箋の内容を補記しています。





グループ1ホワイトボード詳細

※画質の都合上、一部付箋の内容を補記しています。



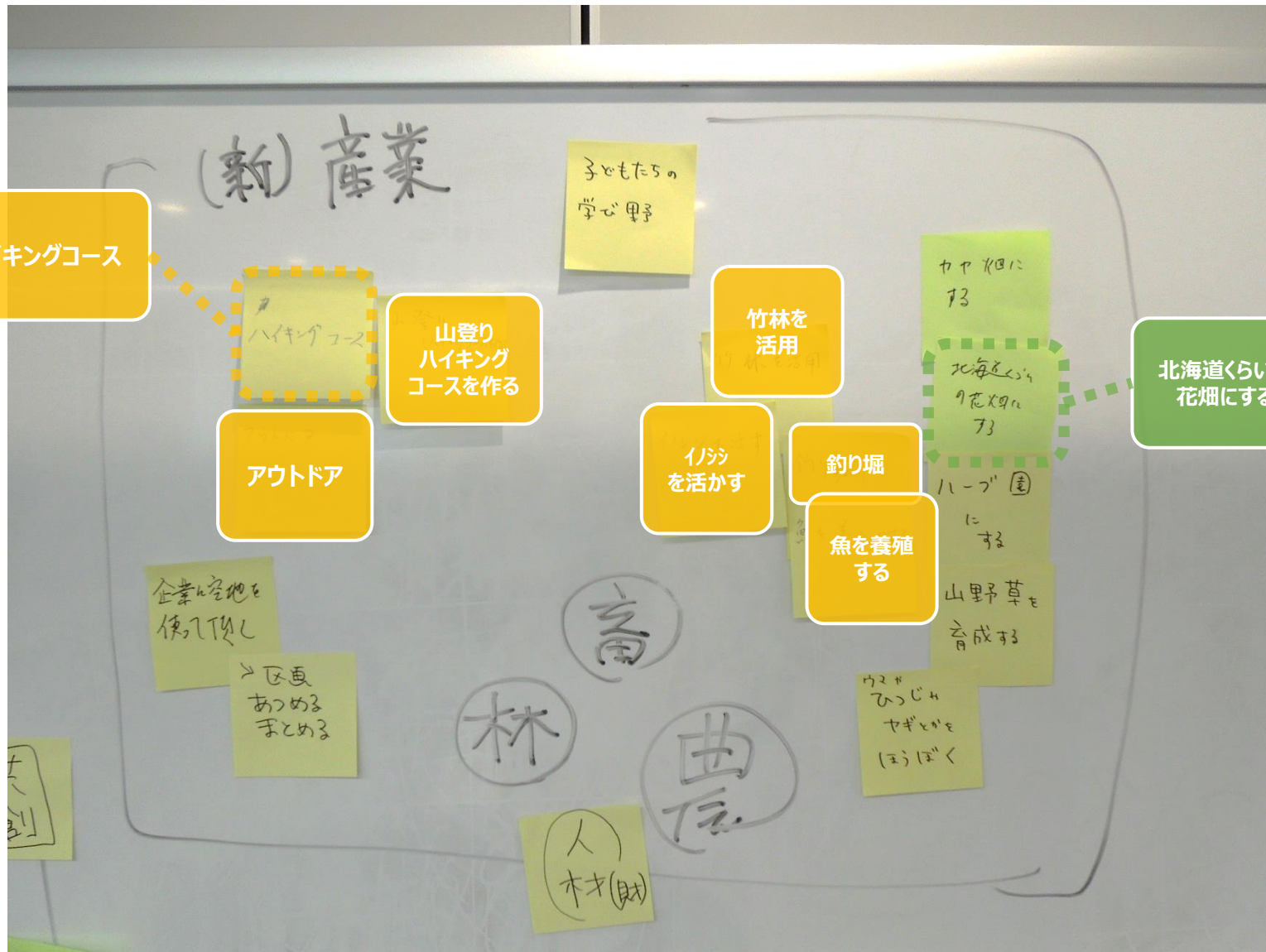
ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



グループ1ホワイトボード詳細

※画質の都合上、一部付箋の内容を補記しています。





グループ1のキーワード一覧

観光

- アート作品の作業場展示場
- キッチンカーのつどい場
- シンボルツリー
- まちかどプロジェクト

支えるしくみ

- 昭和村の農家に貸す
- 逆プロポーザル提案
- 分割相続禁止
- 農地は空き家とで貸す
- 木を植えるカーボンオフセット契約
- 木造住宅のモデルハウス展示場
- ハザードマップとリンクした空き地整理

居場所

- 休憩ベンチ
- 芝生広場
- コミュニティスペース
- 市のリバーズモゲージを始める
- 市街は小規模区画整理
- とнаりの人が買いやすく
- シェアシステムをつくる（ex農具、除雪、キャンプ、スキーアイテム）
- そうこをつくる

共創

産業

- 子どもたちの学び野
- ハイキングコース
- 山登り ハイキングコースを作る
- アウトドア
- まちかどプロジェクト
- 竹林を活用
- イノシシを活かす
- 釣り堀
- 魚を養殖する
- カヤ畑にする
- 北海道くらいの花畑にする
- ハーブ園にする
- 山野草を育成する
- ウマやひつじやヤギとかをほうぼく
- 企業に空地を使って頂く
- 区画 あつめる まとめる
- 人材（財）





グループ1の発表要旨



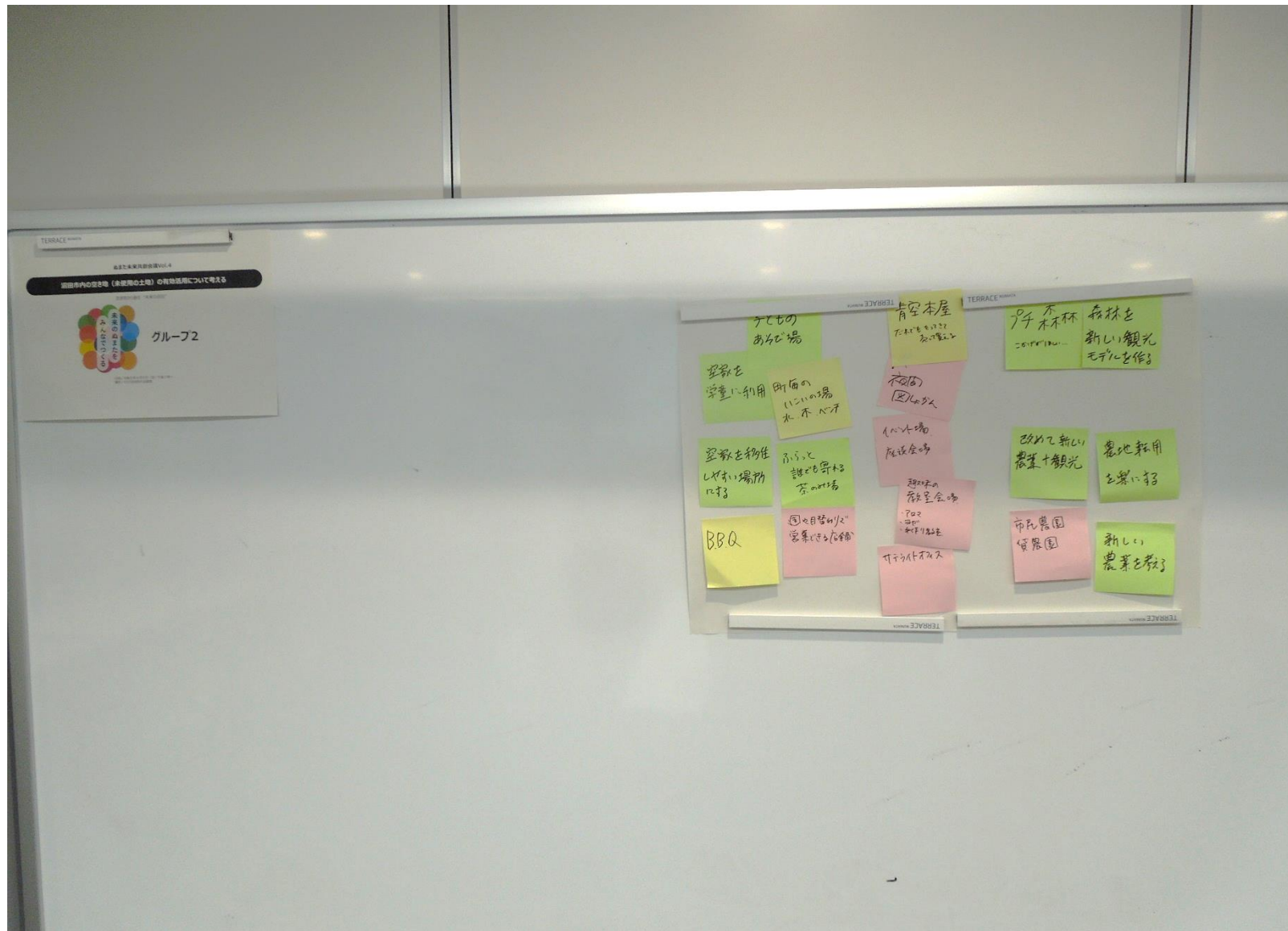
- この会議の提案者は、市外に居住しており、沼田市内の相続をした土地について、空き家を取り壊したが空き地自体は依然所有しており、固定資産税などがかり続ける中でその土地を有効活用できないかと考えるようになった。例えば、有識者を含めた地域外の人から意見を求めたり、沼田市がそうした空き地を取りまとめマップをついたりといった取り組みを進めるのではどうかとの意見があった。
 - 沼田市は「町場」のエリアと「山場」のエリアに区分される。町場のエリアでは、空き地をコミュニティスペース、芝生の広場や休憩のベンチを置いた居場所的なアイデアが提示された。また、観光関連では、キッチンカーが集う場所やビエンナーレのようなアートの場合、またシンボルツリーといったアイデアが出た。
 - 空き地と産業といった中でアイデアが出たのは、古民家を生かすために茅の畑にすることや北海道並みの花畑にすること、さらにはハーブ園や山野草の育成、馬、羊、ヤギを放牧できるようにすることなどがあつた。また、ジビエを提供する場として活用することや釣り堀、水を生かした魚の養殖、山を生かしたハイキングや登山の拠点といった意見が出た。
 - この産業をつかっていくのに必要なのは、それを担っていく人材であるとの意見もあつた。また、環境を生かした子どもたちが学べる学び舎も必要との意見があつた。
-
- 沼田の空き地を企業に利用してもらいたいという意見もあつたが、一方で沼田の空き地は各所に点在していて小さい場所も多く、その区画を集約していくことがまずは必要ではとの指摘もあつた。これは市がすぐに実施していくことは困難であるとの意見もあつた。
 - 狭小の空き地が発生することを防ぐために、分割での相続を禁止してはどうかとの意見もあつた。
 - 農地付きの空き家として貸し出すことやハザードマップとリンクした整備を行っていくこと、近隣住民が占有することにより空き地の所有権を得ていくこと、木造住宅のモデルハウスをつかっていくこと、木を植えてカーボンオフセットの契約をしていくことなどの意見もあつた。
 - こうした空き地の活用について、市が情報を収集し、活用の企画をし、さらには維持をし続けていくということは現実的ではない。そのため「共創」という部分で、市民等からの逆プロポーザル提案のような制度があつてもよいのではとの意見があつた。民間の力をうまく活用していく必要がある。他自治体の「まちかどプロジェクト」のように、人と地域と経済がうまく循環していくような仕組みを整えていくことが肝要との意見があつた。

ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



グループ2ホワイトボード全景



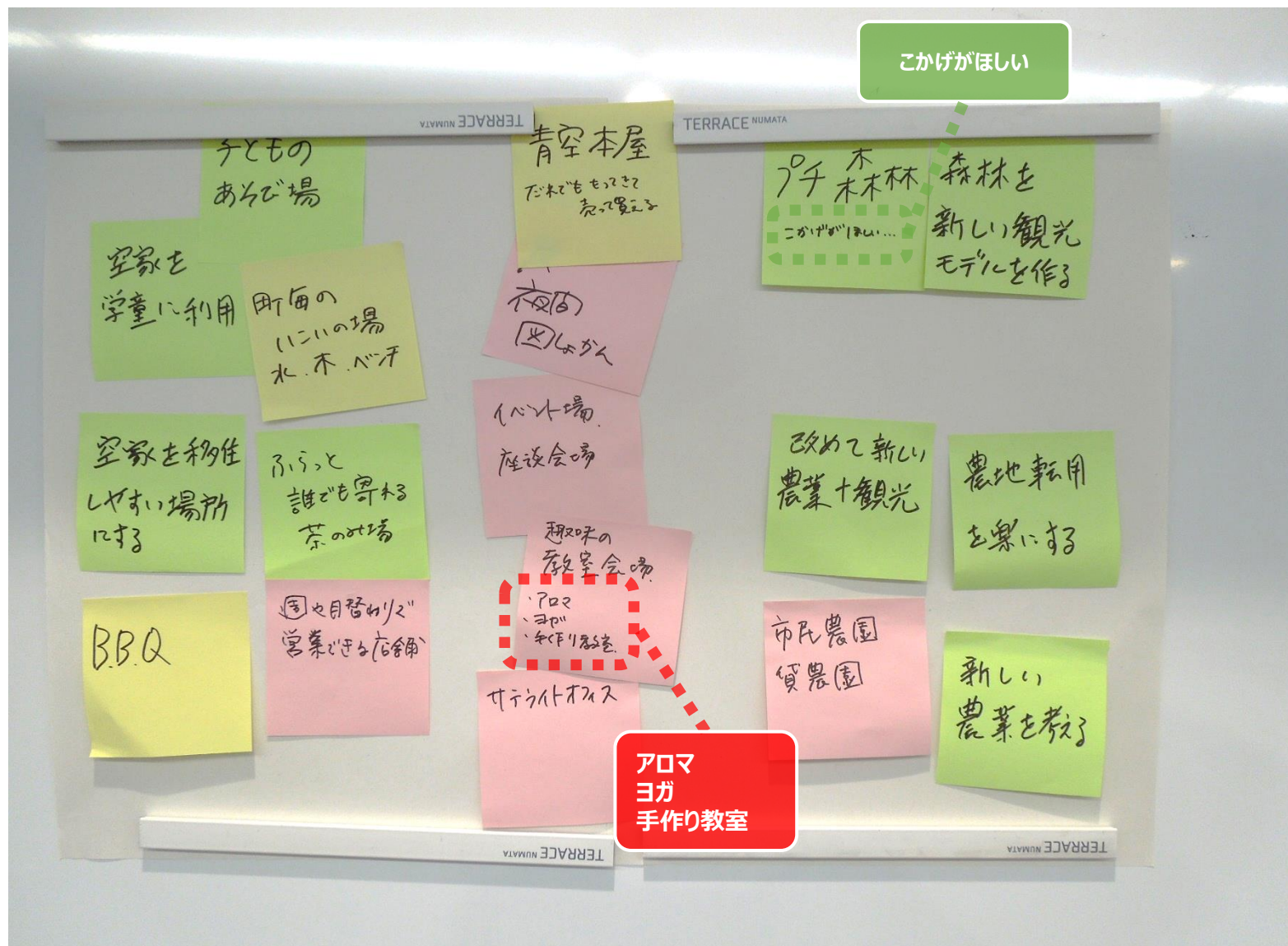
ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



グループ2ホワイトボード詳細

※画質の都合上、一部付箋の内容を補記しています。





グループ2のキーワード一覧

- 子どものあそび場
- 空家を学童に利用
- 町ごとのいこいの場 水、木、ベンチ
- 空家を移住しやすい場所にする
- ふらっと誰でも寄れる茶のみ場
- BBQ
- 週や日替わりで営業できる店舗

- 青空本屋 だれでももってきて売って買える
- 夜間図書館
- イベント場 座談会場
- 趣味の教室会場
 - アロマ
 - ヨガ
 - 手作り教室
- サテライトオフィス

- プチ森林
 - こかげがほしい
- 森林を 新しい観光モデルを作る

- 改めて新しい 農業＋観光
- 農地転用を楽にする
- 市民農園 貸農園
- 新しい農業を考える

グループ2の発表要旨

- 全体的なテーマとしては「住む人たち、市民が楽しくなるような場所」とまとめた。空き地や農地、森林などを活用して、子どもたちを生み育てたいと考えられるような場所を増やしていくにはどうしたらよいかという視点から考えていった。
- 農地については、移住してきた人が家庭菜園くらいの広さでやりたいと思っても、その広さでは農地として貸してもらえないという問題がある。例えば、市のほうで土地をまとめて所有し、市民が利用しやすい農園として貸し出していくなどすれば、市民にも移住者にも利用がしやすい。また、農地転用をやすくするなど、農業委員会の改革も必要。農地を活用しやすくなるような施策を求める意見があった。
- 空き地の増加は、移住者の増加とも切り離せない。移住者の子どもたちは、学校に行けば友達が増えるが、親が交流する場というのは意外に少ない。こうした交流の場として活用するのはどうかという意見があった。例えば、空き教室や空き家を活用したシェアオフィスや居場所づくりなど、そうした場づくりを進めることも重要ではないか。
- 空き地の活用の話などもそうだが、市民や移住者が交流して、本当に楽しいと思えるような場所づくりを話し合う、発送し合う場があるのもよいのではないか、こうした場所からはよいアイデアが生まれるように思う。使いたい人のニーズに合わせた箱をつくり、その人たちが自由に発想できるような場づくりができるのがよい。
- 沼田地区の特徴としては農地や森林が多いことが挙げられる。そうした環境を生かして、親も子どもも楽しめるようなイベントを発想し創出できれば、自ずとそれに付随するビジネスも広がっていく。楽しむことでビジネスが広がる、良い意味でのイノベーションが起こる。
- ぬまた未来共創会議には、今日初めて参加したが、行政と市民といった壁を取り払うような取り組みだと感じる。こうした壁を感じずに話し合える場所が、この自然豊かな沼田市の中にあってもよい。場所の使い方の一つとして提案したい。
- （発表者は）耕作放棄地の有効活用を進めていくということを最近のテーマとしている。自分で体感しながら、考えて取り組んでいきたい。地方は、豊かな自然を生かして、市民が楽しんでこの豊かさを活用していけるようにならなければ、移住は増えていかない。

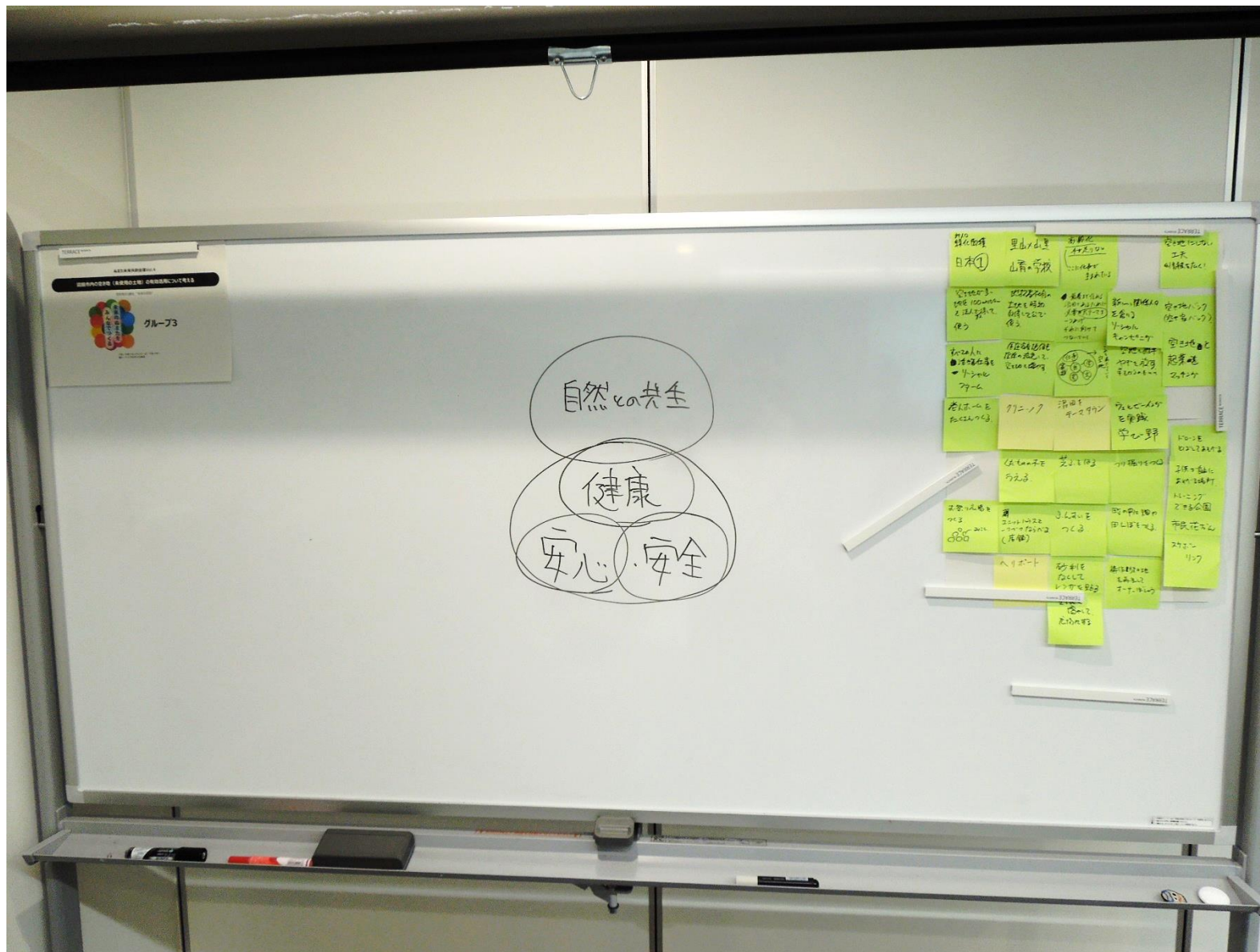


ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



グループ3ホワイトボード全景



ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



グループ3ホワイトボード詳細

※画質の都合上、一部付箋の内容を補記しています。

Whiteboard content (read from top to bottom, left to right):

- 対人口 緑化面積 日本①
- 里山×山果 山育の学校
- 高齢化 手不足 仕事が生かされている
- 空き地にしたい 工夫 情報もたたく!
- 空き地が多い 地区100m×100mと法人で買って使う
- 固定資産税住宅控除の減免をして空き地を増やす
- 最後の住める沼田であるために 必要大テーマを一つあげ それに向けてつないでいく
- 新しい関係人を作る ヴォーカル コンセプト
- 空き地バンク (空き家バンク)
- 空き地と起業家 マチナガ
- 空き地に乳牛 ヤギを放す 羊をかうのもいい
- 老人ホームをたたく
- クリニック 沼田をテーマタウン
- ウェルビーイングを実践 学び野
- ドローンを飛ばしてあそぶ



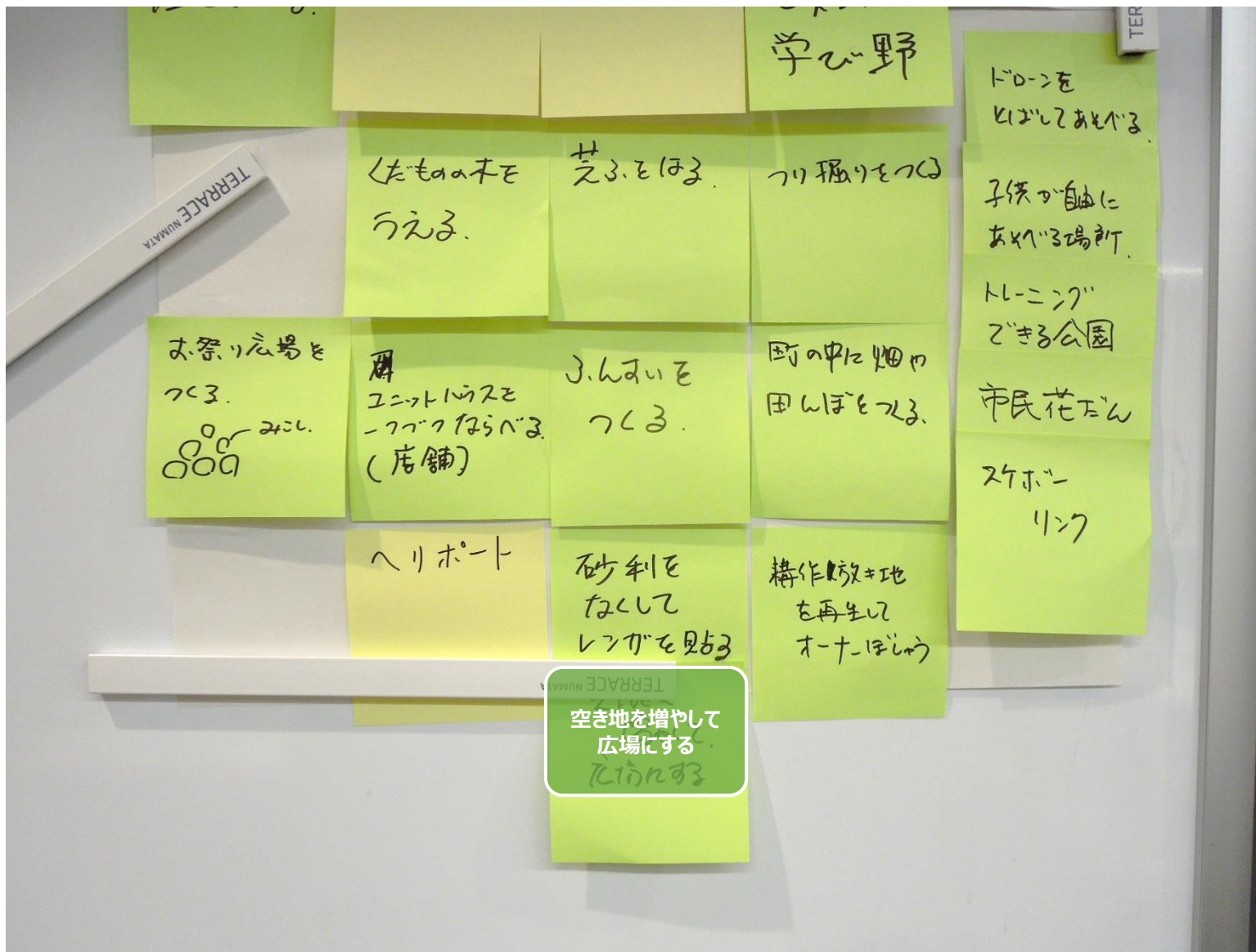
ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



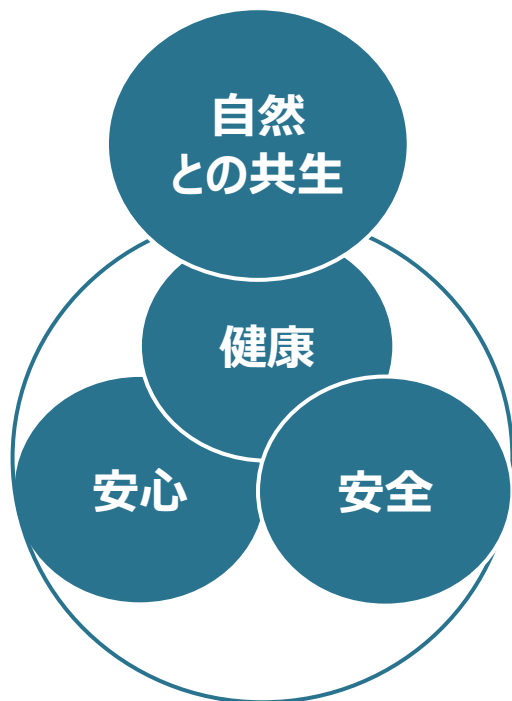
グループ3ホワイトボード詳細

※画質の都合上、一部付箋の内容を補記しています。





グループ3のキーワード一覧



- 対人口緑化面積日本1
- 空き地が多い地区 100m×100mを法人で取得して使う
- すべての人に生きる仕事を ソーシャルファーム
- 老人ホームをたくさんつくる
- 里山×山里 山育の学校
- 地権者不明の土地を時効で取得して公で使う
- 固定資産税住宅控除の減免をして空き地を増やす
- クリニック
- 高齢化 手が足りない ここに仕事が生まれている
- 最後まで住める沼田であるために必要な大テーマの一つあげ それに向けつないでいく
- 仕事－学－文－医－芸－家族 これを満たしていく空地
- 沼田をテーマタウン
- 新しい関係人口を創る ソーシャルキャンピング
- 空き地に乳牛 ヤギを放す 羊をかうのもいい
- ウェルビーイングを実践 学び野
- 空き地にしない工夫 情報を広く！
- 空き地バンク（空き家バンク）
- 空き地と起業をマッチング
- ドローンをとばしてあそべる
- お祭り広場をつくる
- くだもの木をうえる
- ユニットハウスを一つずつならべる（店舗）
- ヘリポート
- 芝ふをはる
- ふんすいをつくる
- 砂利をなくしてレンガを張る
- 空き地を増やして広場にする
- つり堀をつくる
- 町の中に畑や田んぼをつくる
- 耕作放棄地を再生してオーナー募集
- 子どもが自由に遊べる場所
- トレーニングできる公園
- 市民花だん
- スケボーリンク



グループ3の発表要旨

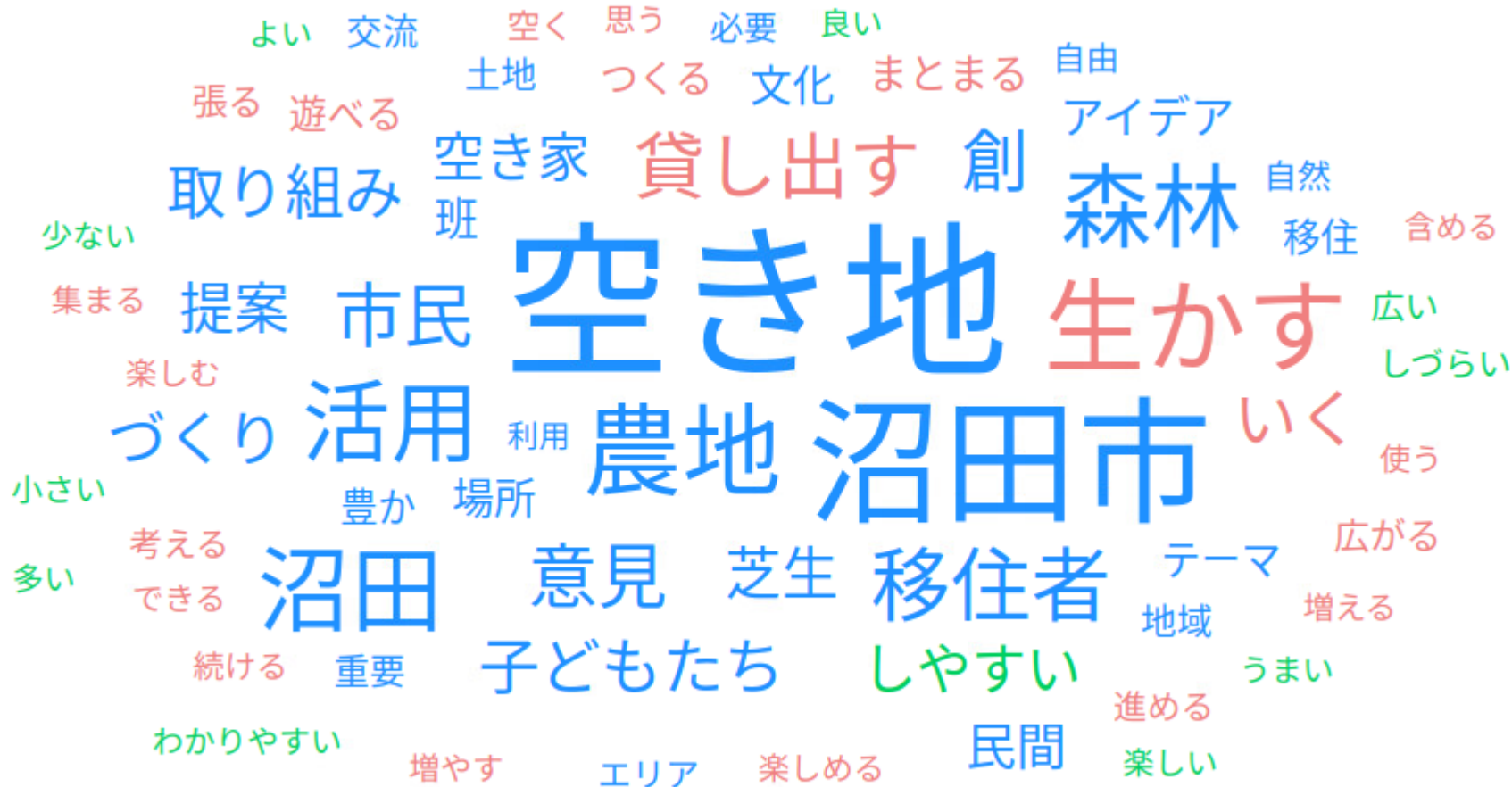


- 沼田をテーマタウン化しようという意見があった。これがこの班のホワイトボードの中心に来ている。最近ではイシューなどとも言うが、このことは、これからのまちづくりに非常に重要な感覚だと考えている。
 - 班の一人が最初に言っていたのは、空き地に芝生を張ることだった。芝生を張った場所には人が集まってくる。ただの空間も四季などを生かしたちょっとした工夫で人が集まるかもしれない。
 - 市外から移住してきた班員は、耕作放棄地を使って関係人口を増やす取り組みを行ってきた。その経験から「空いたところには何かを入れられる」という話をしてきた。空いた場所の活用は、外から来た人間の感覚で使っていくという提案もあった。さらには、ほかの班の発表でもあったが、楽しむこと。この地域の時間の過ごし方を楽しむという提案があった。
 - 若者も含めて楽しめる場所を作ろうという中でスケートパークという提案もあった。昔は不良のたまり場のようなイメージであったが、最近のオリンピックでの活躍などもあり、子どもたちの目指すべき目標、夢のある目標になった。
-
- 子どもたちの自由に遊べる場は、今はない。全て規制が先行している。空いている場所を子供たちが自由に遊べる場所にしようという意見があった。公園ですら、今や子供たちは自由には遊べない。規制で縛っていったのがこれまでの時代、増えていく時代では絞っていくことも重要だが、減っていく時代では何を大事にしていくべきかを考えていく必要がある。
 - まちづくりには安心・安全が重要なのはもちろんだが、そこには健康の視点が抜けている。沼田の特色を生かして、この地域づくりをしていくときに、自然との共生が重要だと、これが自分たちの誇りだという意見があった。沼田市は、森林文化都市を掲げている。森林はある、文化もある、しかし「森林文化」というのは何かという疑問がずっとあった。森林文化は、格式のある言葉であるとの意見もあったが、市民にとってわかりやすいのは「自然との共生」であり、外の人にも発信しやすいテーマであるように思う。
 - 空き地は、一つ一つは小さく活用しづらいということもあるが、活用の方向、それも民間だけが活用するのではない、行政だけが活用するのではない、民と官が共創してその方向を創り上げていく、その第一歩目が今日の場だと思っている。共創で空き地を活用しながらふと目線を上げた時、21世紀の「森林文化都市・沼田」が見えてくるのではとの意見にまとまった。



発表要旨のワードクラウド

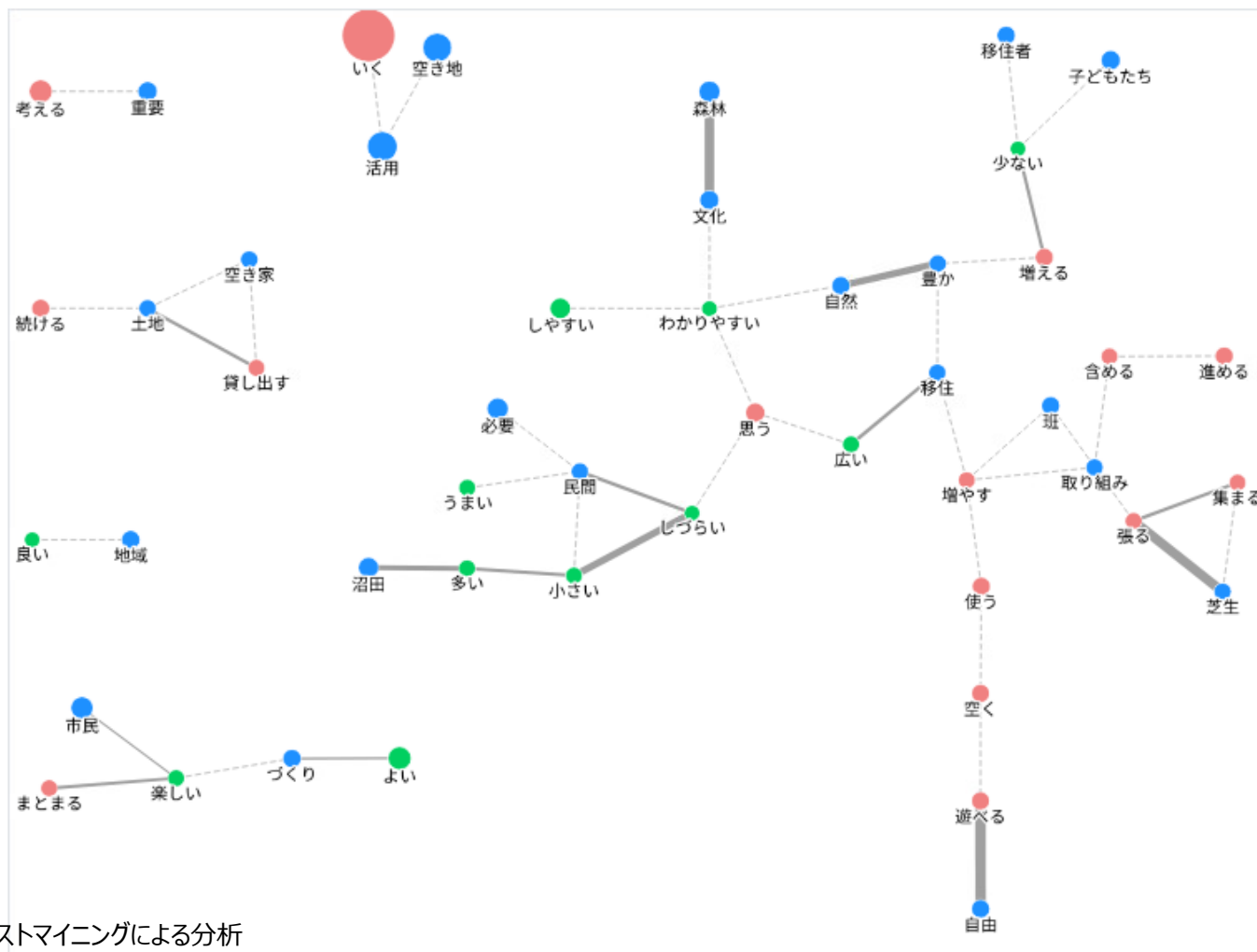
全班の発表からスコア（単語の「重要度」）が高い単語をAIが複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は、品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。





発表要旨の共起キーワード

共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現するという意味です。共起回数は、一緒に出現した回数を指します。共起キーワードは、全発表の発表に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図で、出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

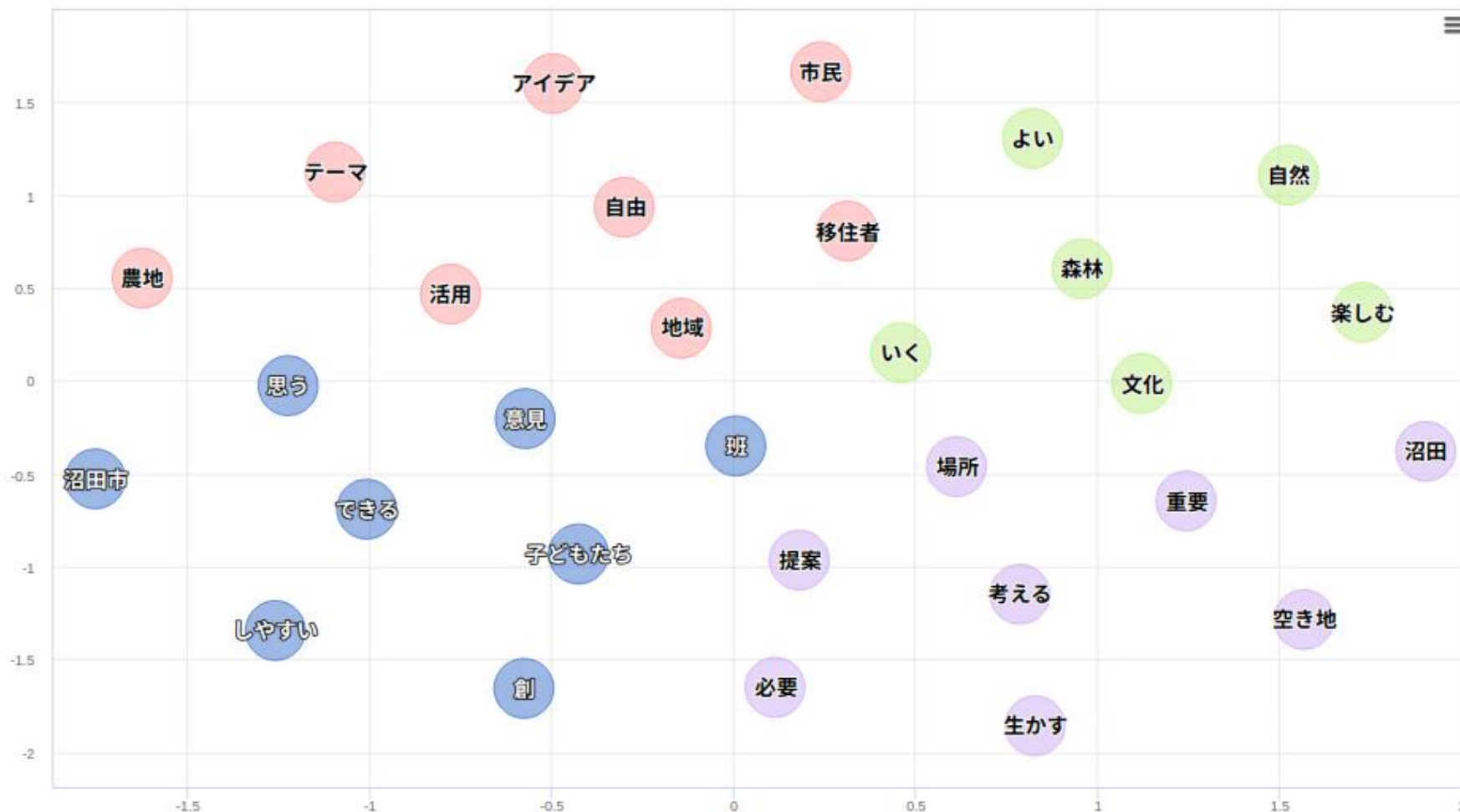
ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401



発表要旨の2次元マップ

2次元マップは、全員の発表の単語の出現傾向を全体的に俯瞰するためのもので、「近くにある単語同士は同じ場所に出てくる傾向が強い」ということを意味しています。（単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く配置）



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)



チャット型AIによる解決策提案

チャット型AIに対して「今回の議論を踏まえて解決策を提案してほしい」と指示したところ、次のような回答が得られました。

ベンチやテーブルを置いて、市民がリラックスできる場所を作るというアイデアがあります。

それに加えて、子どもたちが遊べる遊具を設置することで、ファミリー層にも利用される場所づくりができます。

また、地元の農産物や手づくり品などを販売するイベントを定期的で開催することで、地域の活性化に繋がると考えられます。

さらに、移住者や旅行者にとっても魅力的な場所づくりが必要であるため、観光施設やホテルなどの開発も検討すべきです。

以上のような施策を取り「まちかどプロジェクト」のような人と地域と経済が循環していくような仕組みを整えて、沼田市を活性化していくことが重要です。

具体的には、市民がリラックスできる場所や子どもたちが遊べる遊具を設置するにあたり、以下の点を考慮する必要があります。

1. 設置場所の選定：住宅街や公園など、市民に利用される場所を選ぶことが重要です。また、安全性や日陰の確保なども考慮する必要があります。
2. 遊具や備品の選定：子どもたちが喜ぶ遊具や、シニア世代が利用できるベンチやテーブル、傘などの備品を選定する必要があります。また、耐久性や安全性の確保も必要です。
3. 活用方法の検討：設置した場所や遊具を市民が利用するための情報発信やイベントの開催なども検討する必要があります。

以上を踏まえて、市民がリラックスできる場所や子どもたちが遊べる遊具を設置する提案案としては、以下のようなものが考えられます。

1. 小さな公園の設置：住宅街の中心部に小さな公園を作り、遊具やベンチ、備品を設置する。また、季節ごとに様々なイベントを開催する。
2. ライブラリーガーデンの設置：図書館の周辺に、本を読みながらくつろげる場所や、子どもたちが遊べる遊具を設置する。また、図書館と連携した読書イベントなどを開催する。
3. テニスコートと公園の複合施設：テニスコートと、その周辺に遊具やベンチ、備品を設置する。また、夏季はプールも併設し、様々なスポーツや遊びが楽しめる場所として運用する。

以上のような提案があります。地域に合った場所や遊具などを選定し、市民が楽しめる空間を提供することが大切です。

ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401

記録写真：グループワーク発表の様子



ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401

記録写真：グループワーク発表の様子



ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401

記録写真：グループワーク発表の様子



ぬまた未来共創会議Vol.4 沼田市内の空き地（未使用の土地）の有効活用について考える

日時：令和5年6月9日（金）午後7時～8時40分 場所：防災会議室401

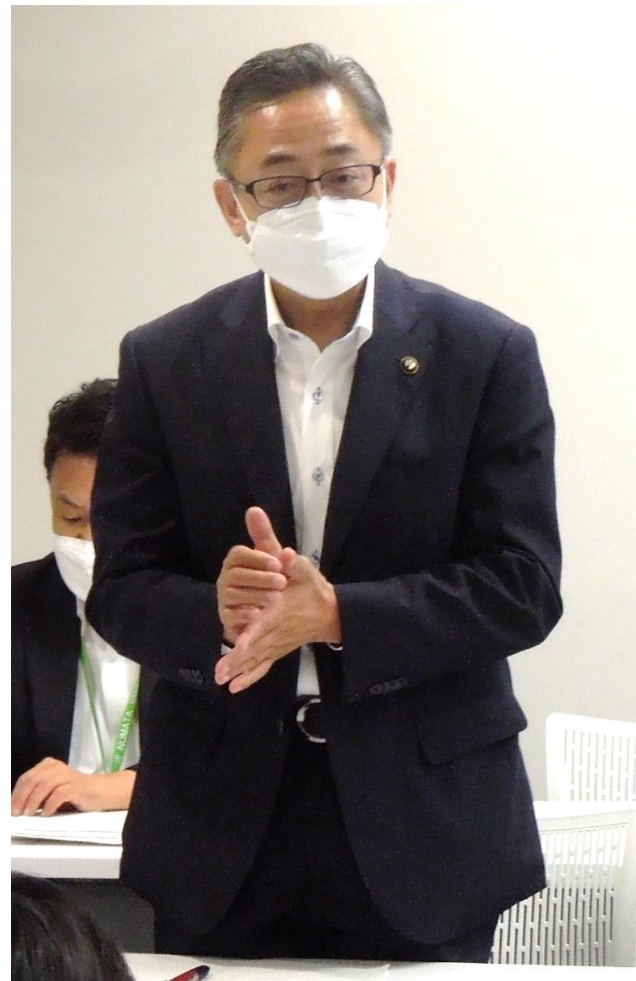
記録写真：沼田市長挨拶





会議記録：市長所感

- 沼田市は森林文化都市という宣言をしてきて、具体的な環境政策を打ってきたか、文化活動があったかということではなかった。おそらくは、時代が早すぎた。33年前に制定したが、時代が追い付いてこなかった。今になってそこを認識できる時が来たという感じがしている。皆さんが感じていることもこれに重なっているので驚いた。
- 今はさまざまな課題を抱えている。雇用もつくらなければならない、子育ても老人福祉も充実させなければならない。サービスを切ることはできない。では、何が足りないかということ、わくわく感だということ、今日の昼間にも議会の場で発言した。
- 例えば、発表にも重なるが、楽しいところでないと人は集まらない。市民が笑っているところでないと外からも人は集まってこない。そういう場所ができないかというのは、行政内部でも悩んでいる。そういう視点でいうと、皆さんは今日の会議で非常にパワフルに意見を出されたように思うが、的を射ていると思う。皆さんが感じている、こういう楽しいことをしようじゃないか、あそこに行ってアイデアを出し合おうと、集まって楽しんでいながらビジネスが生まれるという話もされていたが、非常に胸を打たれた。
- 今日は、企画政策課の担当職員が集まっている。皆さんの意見を整理して、アイデアを生かしていきたい。ことによるとこのメンバーでもう一度会議をお世話になりたいということもあるかと思う。その時には、ぜひご協力いただきたい。率直な意見をお伺いしたい。本日のご参加に感謝を申し上げ、所感とさせていただきます。



沼田市長 星野 稔